

(様式3) 休眠預金等活用事業 支援対象活動計画書 (詳細)

2023年度 活動支援事業
ジャパン・プラットフォーム 災害に対応できる民間支援団体の増加と基盤強化事業

※記入に当たっての注意事項: 入力スペースは適宜ご調整いただいてかまいません。

団体情報

団体名	(法人格)団体名(略称) 特定非営利活動法人 日本レスキュー協会						
団体概要	設立趣旨書の目的・事業内容なども含めて記載してください 阪神・淡路大震災で海外から派遣された災害救助犬を活用できなかったことを背景として、1995年9月1日当協会を設立した。 活動目的 ①災害救助犬の育成及び国内外への派遣に関する事業を行い、人命救助活動や地域安全活動に寄与すること ②セラピードッグの育成、派遣に関する事業を行い、あらゆるリハビリテーション活動や心のケア活動に寄与すること ③社会に関する動物愛護精神の啓蒙や動物愛護活動を推進すること						
これまでの主な事業 ※適宜、行を増やしてください	主な事業名		碑益者属性		碑益者数		
	(主な国内活動内容)※過去5年						
	2024年9月石川県能登豪雨災害		輪島市各所				
	2024年9月石川県能登地震		珠洲市各所・輪島市各所				
	2022年12月山形県鶴岡市土砂崩れ		鶴岡市				
	2021年7月熱海土石流災害		熱海市				
	2020年7月九州南部豪雨災害		佐賀県各地				
法人設立日	1995年9月1日	会員数	1,932個人 81団体	役員数	12人	職員数	17人
団体所在地	(本部)兵庫県伊丹市下河原2丁目2-13						
当該プログラムのご担当者 ※複数名の場合、行を増やしてください	ご氏名 松崎 直人		メールアドレス(PC) matsuzaki@japan-rescue.com		電話番号 072-770-4900		
	(団体での役割、非営利分野での活動年数、災害支援のご経験(あれば)など) 副理事長として被災地へのサポート、企画広報など努める。7年間活動を行い、平成8年ペルーナスカ地震・長野県小谷村土石流災害、平成9年鹿児島県出水市土石流災害、平成10年高知県安芸郡馬路村土砂崩落、平成11年広島県豪雨災害、トルコ北部地震、台湾大震災、トルコボルー地震と災害現場へ救助活動、令和6年能登半島地震へのペット支援活動、山形県豪雨災害でのペット支援活動など						

貴団体の活動分類はどれにあてはまりますか？(該当するものに○)		
	A. 非災害支援団体(災害支援経験なし)	
	B. 非災害支援団体(災害支援経験あり)	
○	C. 災害支援団体	
災害支援経験ありの場合 (上記B.C.に該当) ※複数あれば行を増やしてください	対応災害名	令和6年能登半島地震、および同豪雨災害
	実施内容	災害救助犬での人命救助活動、被災地へのセラピードッグ訪問、被災地でのペット支援活動など。現在もペット支援活動は継続中
	実施期間(日数・月数等)	2024/1/1～10、1/26～29、9/22～25
	対応災害名	令和6年東北豪雨災害
	実施内容	被災地でのペット支援活動など
	実施期間(日数・月数等)	2024/7/26～28日、現在も活動中
特記事項など(何かあれば)		

支援を受けたい内容(該当に○)		課題意識や要望について
○	1.規程類の整備	規程類が不備のため、作成も含め指導願いたい。
○	2.災害に関する事業計画立案	休眠預金事業を申請する場合に、すぐに役立てるように事業計画の立案について準備しておきたい。
○	3.災害支援に関わる社会的インパクト評価	評価自体についてご教示いただくとともに、対応について指導・助言願いたい。

※支援内容・期間等については、詳細面談後に決定させていただきます。

団体財政状況について

前期決算額	155,943,248円	
事業費	137,209,370円	88%
管理費	18,733,878円	12%
委託費	円	%
受入寄付額	91,602,892円	
負債	19,368,703円	

当該プログラムへの申請理由

災害対応準備理由	申込み経緯(考えている災害リスクや自団体が災害に取り組む必要性、所在地域での役割や、他地域での活動の有用性など)	
	災害発生とともに救助活動が必要となる為、初期活動として費用が発生する。また災害時での必要性もある為、平時での訓練や準備などが必要不可欠である。	
想定する災害時の活動	対象地	事業内容
	国内外災害での救助活動やペット支援活動、セラピードッグの派遣など	人命救助活動や被災地でのペット支援活動やセラピードッグの派遣など

災害対応準備完了後の活動の見通しについて

活動意向	活動予定内容	資金調達について
団体所在地内における災害	国内外災害での救助活動やペット支援活動、セラピードッグの派遣など	寄附金、募金、各種助成金
隣接県での災害	同上	寄附金、募金、各種助成金
遠隔地での災害	同上	寄附金、募金、各種助成金

支援終了後に期待する効果、将来像、ビジョンなど

災害時の緊急活動のみならず、平時に下記の事業の実行体制を整備しておくことが肝要と思っている。
今回の支援を受けて休眠預金事業に必要な規程類を整備して、しっかりした事業計画を立て、緊急枠のみならず通常枠の休眠預金事業への申請を可能な状態にすることで下記の事業を整備して団体の基盤を安定させ、災害時にもスムーズに質の高い支援を行えるようになることを目指したい。

1. 災害救助犬及び犬の訓練士(ハンドラー)の育成、派遣事業(国内外問わず)
→ 国内外への災害時に人命救助に繋がる災害救助犬の派遣が早急に対応できるようになる。
2. セラピードッグ及びドッグセラピストの育成、派遣事業
→ セラピードッグの派遣によるセラピー効果での心のケアや孤独死など削減していく。
3. 災害救助犬、セラピードッグを育成、派遣している団体との連携、助言及び援助の活動事業
→ 将来的には災害救助犬のネットワーク拡大や避難所におけるペットとの共存避難問題の解決などにも取り組みたい。
4. 動物保護及び愛護活動に関する事業
→ 被災地でのペット飼養世帯への支援活動を行い、災害関連死を減させていく。